

進めよう！協働のまちづくり

地域の課題解決に向けた取り組みを支援

協働のまちづくり

近年、少子・高齢化や高度情報化の進展、地方分権の推進など、社会経済環境が大きく変化することにより、市民ニーズも多様化しています。

このような中、誰もが住み慣れた地域の中で、安心して豊かな生活を送ることが出来るまちをつくるためには、市民と行政とが互いの役割を理解した上で、共に知恵と労力を出し合いながら、地域の力を結集してさまざまな課題に取り組むことが大切です。

市では、市民の皆さんとの協働によるまちづくりを推進するため、地域づくりやボランティア活動など、市民の皆さんが自ら行う社会活動に対し、さまざまな支援を行っています。

まち・未来創造支援事業を創設

市はこれまで、市民活動団体が行う地域資源などを活用し、地域の活性化を図る事業を支援するために「ひと・まち元気創造事業」を実施してきました。

今年度からは「ひと・まち元気創造事業」を見直し、市民活動団体の目的や段階・活動テーマに応じた支援を可能とする新たな助成制度として「まち・未来創造支援事業」を創設しました。「まち・未来創造支援事業」は、市民の皆さんと行政とが一緒になって、人・まち・自然・歴史・文化などの地域の宝を共有し、また未来を見据え、暮らし続けたいくなるまちづくりを目指すための制度です。

市は今後も、市民活動団体の皆さんが公共の利益を目的とし、自ら企画立案し実施する事業について経費の一部を支援し、市民活動の一層の促進を図っていきましますので、力を合わせて元気なまちをつくっていきましよう。

これまでの支援の一例を紹介

内郷おもしろマップ作成事業

内郷地区の将来を担う人材の育成と、観光客の周遊性の向上を目的に、地区の高校生の手による地区内のスイーツ販売店舗マップを作成し、観光客や地元の皆さんに利用していただきました。



いわき「アート&エコ」イベント事業

アートを通じた市民主体のひと・まちづくりや、地球環境について考え行動するきっかけを作るため、山林での村づくりから始める市民参加型イベント「アースディいわき」を開催しました。



三和町農業支援隊

遊休農地の活用と、都市部との交流を図るため、都市部からの参加者を募り、高原野菜やソバを栽培しました。秋には、収穫した野菜を使った芋煮会などを開催し、収穫の喜びを分かち合いました。



市民参加の森づくり推進事業

健全な森づくりや担い手の育成、間伐材の利用促進を図るとともに、いわきの森に親しんでもらうため、市民参加により、市街地の近くの里山や人工林の再生作業、地元木材を使った活動を実施しました。



～まち・未来創造支援事業の仕組み～

まちづくり活動（スタートアップ）支援事業

可能性の把握 効果測定 ネットワークづくり

スタートアップ支援事業では…
地域の身近な課題を解決するための比較的小規模な活動から支援します。



創成期
成長期
発達期

民

行政

まちづくり活動（ソフト）支援事業 まちづくり活動（ハード）支援事業 行政による事業の制度化

地域からの情報発信 地域振興・地域交流 市民福祉サービスの向上

まちづくり活動（グレードアップ）支援事業

- ◆ 新たな地域・団体との連携
- ◆ 事業規模の拡充
- ◆ 全国へ向けた地域魅力のPR



支援事業補助メニュー

区分	対象	補助率	補助限度額	助成回数	申請書提出期限
まちづくり活動（スタートアップ）支援事業	これから新たな公益的事業を始めようとする団体やグループ	補助対象経費の10分の8以内	1回20万円	3回まで	①6月1日(火) ②8月1日(日)
まちづくり活動（ソフト）支援事業	地域の課題解決や市民サービスを高めるための社会貢献活動を行う団体	補助対象経費の3分の2以内	1回100万円 複数年合計250万円	3回まで	①6月1日(火) ②8月1日(日) ③10月1日(金)
まちづくり活動（ハード）支援事業	地域資源を活用した整備を行う団体	補助対象経費の4分の3以内	500万円	原則1年	6月1日(火)
まちづくり活動（グレードアップ）支援事業	事業をさらに拡充・発展させるため、当該団体だけでなく、地域住民や企業、学校、他の団体に広く賛同・協力してもらいながら企画・運営する団体	補助対象経費の2分の1以内	1回150万円	3回まで	6月1日(火)
NPO法人設立等支援事業	NPO法人格を取得し、地域の課題解決に向けたまちづくりを行っていることとする団体のNPO法人認証手続きにかかる活動、または会員獲得などに向けたPR活動	補助対象経費の10分の8以内	20万円	2年以内	①6月1日(火) ②8月1日(日) ③10月1日(金)

お問い合わせ
市民協働課協働推進係
☎22・7414